

国土の変化に対応した 社会システムの実現に向けて

～防災対策の視点から～

地震や風水害などの自然災害の可能性を多く抱えるわが国において、国民の生命と財産を自然災害から守るための社会システムの実現が大きな課題となっています。

地籍シンポジウムin滋賀2014では、**第一部**で古い地名の呼称や地図の解釈・分析によって、その土地が持っている潜在的な特徴を再確認していただき、自然災害との関連性や防災まちづくり、地域計画等への活用意義について、考えていただく機会とします。また、**第二部**では国土の広範なエリアの微細情報を得ることを可能とした衛星観測技術（リモートセンシング技術とユビキタス技術の融合）による地震の被災判読や新水域の抽出情報など宇宙からの空間情報を活用した防災・災害対応への取り組み事例を紹介いたします。この機会に是非お越しください。



土地家屋調査士
広報キャラクター
地識君

とき 平成**26**年**2**月**28**日**(金)** 13:30 開場
14:00 開会
17:00 閉会

ところ 栗東芸術文化会館さきら 中ホール
滋賀県栗東市糺二丁目1番28号 TEL:077-551-1455

入場無料
定員400名



第一部 14:10～ 「防災まちづくりに向けた古地名呼称の今日的価値と活用意義」

講師 柴田 久氏 (福岡大学 准教授)



第二部 15:50～ 「空間情報を活用した防災・災害対応等の事例紹介」

講師 杉澤 泰弘氏 (株式会社パスコ関西事業部推進室室長)

会場展示コーナー 古地図や大学生と地域住民が作成した防災マップなどを展示しています。

【古図】柴崎 優氏 (滋賀県土地家屋調査士会会員) 【防災マップ】滋賀大学



PROFILE

柴田 久 (福岡大学 准教授) 1970年福岡県生まれ

専門は景観設計・計画論、住民参加型まちづくり論、環境計画論。
主な著書に『環境と都市のデザイン～表層を超える試み・参加と景観の交点から～』『土木と景観～風景のためのデザインとマネジメント』(学芸出版社) (共著) などがある。2011年度グッドデザイン賞をはじめ、受賞多数。

主催/お問い合わせ先

滋賀県土地家屋調査士会

〒520-0056 滋賀県大津市末広町7-5
滋賀県司調会館1F

TEL:077-525-0881

滋賀県土地家屋調査士会

検索

FAX:077-522-8443

http://shiga-kai.jp/



交通 JR琵琶湖線「栗東駅」東口より約400m(徒歩約5分)
名神高速道路「栗東I.C.」より約3km